

皆様

日本における金箔等の生産高のうち、金箔の99%以上、銀箔・洋箔の100%が金沢産です。深みのある輝きと劣化しない特性を活かし、美術工芸品の加飾、歴史的建造物の修復ほか、近年では、インテリア等への応用も試みられています。

このように、金沢箔は、金沢の主要な伝統産業のひとつであるとともに、金沢文化を構成する重要な要素であります。

一方で、近年の金沢箔業界は生産の海外移転などから縮小傾向が続き、箔製造業に携わる人が減少し、産地に蓄積された技術の継承に懸念が生じています。また、新たな商品開発や用途の拡大をいかに高めるかなど、多くの課題もあります。

そこで、それらに対応するため、2010年秋に（仮称）金沢箔技術振興研究所を開設し、産地支援・商品開発コーディネート・研究コーディネート・アーカイブ機能を担い、金沢箔の振興に取り組んでいきます。

今年1月には、その研究所の準備室が設置されました。準備室では、今後「アーカイブ（電子書庫）機能」の整備に向け、歴史、文化学者とも連携を深め、箔を多く使う地域や業界に関して情報収集します。また、研究所が主体となって取り組む研修会や研究調査のため、国内外の産地の箔事業者と交流を行います。

それでは、皆様がますますご健勝にてご活躍されることを願って、日本国金沢市創造都市推進室より。

添付写真 「金沢箔を使用した工芸品」

